

9. 乳腺外科 研修プログラム（選択）

1. プログラムの目的

乳腺疾患、特に乳がんの診断、治療、術前・術後管理に関する専門知識と技術を習得する。
乳腺病理診断科、看護師との連携を理解し、集学的治療の一員として貢献できる能力を身につける。

2. 研修期間 4～44 週間

3. プログラム指導者と参加施設

プログラム指導者 乳腺外科 竹内 賢
参加施設 中部国際医療センター 乳腺外科

4. 到達目標

乳腺疾患の病態生理、診断、治療に関する最新の知識を習得する。
乳がんのスクリーニング、診断、手術、薬物療法、放射線治療、緩和ケアまでの一連の流れを理解する。
各カンファレンスに積極的に参加し、多職種連携の重要性を理解する。
手術室で指導医の指導のもと、乳腺手術の介助を行い、基本的な手術手技を習得する。

5. 指導体制

指導医によるマンツーマン指導を基本とし、週 1 回の乳腺病理カンファレンス、週 1 回の乳腺外科術前カンファレンスで症例検討を行う。
手術室での指導医による直接指導。
定期的なフィードバック面談を実施し、研修医の学習状況や課題を共有する。

6. 方略

外来診療、病棟診療、手術室での実地研修。
乳腺病理カンファレンス、乳腺外科術前カンファレンスでの症例発表と議論。
必要に応じて、学会発表や論文作成の指導。

7. 評価

日々の診療における指導医からのフィードバック。
ポートフォリオ（経験症例記録、振り返りレポート）の提出。
指導医による総合評価（到達目標の達成度、診療態度、コミュニケーション能力など）。

8. 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	外来診療	手術	病棟回診	カンファレンス	外来診療
午後	病棟業務	カンファレンス	病棟業務	手術	病棟業務